

2012年11月25日 「統一教全国食口連合礼拝のみ言」 真のお母様

今日は、週刊ブリーフィング2週間分と、清平役事と祈願書に関する映像を2本視聴した後、石川祐司教会長のお話を賜りました。

以下に、真のお母様のみ言を掲載いたします。

<真のお母様のみ言>

「神霊と真理で愛が溢れる教会、原理で世の中を救おう」

会えてうれしいです！(立って拍手を送る食口らに)席に座ってください。(石竣溟韓国会長「静かに席に座ってください」)長い時間が過ぎましたが、本当に素晴らしい御言を通して訓読と説教を聴き、また映像も見て、さらに素晴らしい報告も聞いたのに、これ以上御言が必要ですか？(「はい！」)(拍手)

誰もがそうするでしょうが、成年になっても新しい万年筆や鉛筆を持てば、このように試し書きをするでしょう？何かを書くでしょう？私は幼いころから、なぜか「統一」という文字が好きでした。考えてみるとその単語が長い間、私の力になってくれていた気がします。

私たちが神様をお迎えて、究極的に天一国を完成させなければならない問題において、まず一番初めにすべきことは、自分個人、自分自身のことなのです。真のお父様は、二人が一つとなって成し遂げて行くのが天国であるとおっしゃいました。人間が心と体を、どうしたら100%以上統一された位置で生活できるのか。これが最も基本であり、私たちが信仰で実践しなければならない問題であると見ています。

それで、私はこのように話しました。皆さんは善し悪しを批判する前に、まず純粋な思いで天の前に「ありがとうございます」という言葉で始めなさい。偽ることなく天の前に「ありがとうございます」と言えるのは、道(どう)が通じた人です。そうではないですか。(「はい！」)(拍手)

個人、家庭、教会、氏族、国家、世界の統一された位置に立てば、神様を中心とした一つの世界が自動的に成されるでしょう？(「はい！」)(拍手)

そのように生きると決意する人は拍手してください。(拍手)そのような思いで生きれば、皆さんがしようとするすべてのことに天が共にあられ、祝福があるでしょう。(拍手)ありがとうございます。